

2023（令和5）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
みどりの森 就労継続支援B型

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するためにお互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①地域の方と円滑な関係を築き、交流を深める。

・野口町・諏訪町共に行事への参加、ミニバザーやみどりの森まつりの開催、そして近隣の保育園と相互のイベントに参加するなど、様々なイベントを通して地域の方々と交流し良好な関係が築けた。

②心身ともに安定した生活が送れるように支援する。

・現在の環境に慣れ、感染症も広がらず安定して過ごすことができた。また作業だけでなく、グループ外出やバスハイクなどのイベントを企画、実施し、日常的に運動の時間を増やすなど利用者にメリハリのある生活を提供することができた。

③多機能型の特性を活かした運営を行う。

・前年度以上に利用者、支援員共に支援計画に合ったプログラムの内容や状況に合わせてフレキシブルに動くことができた。またイベントで自立訓練のハンドベルとグリーンバンドのセッションや室内・外作業への取り組みもお互いの日課の中で進めることができた。

④健康の維持・増進と病気の早期発見に努める。

・健診やPTを活用した個別支援計画で全体としても個別に対応できた。また運動プログラム（運動の日）を実施することで、定期的に運動する機会を設けた。

⑤就労・社会参加の場として適切な環境を提供する。

・新規の一般就労や実習に結び付けることはできなかったが、日々作業の機会を提供することで適切な環境の維持に努めた。

（3）中期目標（令和4年度～令和6年度）

①多機能型の特性を活かした運営手段を確立する。

・前年度以上に自立訓練と連携して利用者、支援員共に支援計画に合ったプログラムの内容

や状況に合わせてお互いに使い分け、フレキシブルに動くことができた。

②新たな地域で回収や清掃活動、バザーを行うことで地域と良好な関係を築く。

・バザーは地域で認知されるようになった。また資源回収や地域清掃を頻繁に行うことで声をかけられることが多くなり、地域の方々と良好な関係を築くことができた。

③職員一人一人が自らの役割を明確化し、チーム一丸となってより良いサービスを提供する。

・今年度は職員の異動が大きかったが、日々の打ち合わせや新しい手段を都度考え共有することで大きな問題に発展することなく運営できた。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 31名（利用者数32名）
- (3) 開所年月 平成21年4月
- (4) 施設規模
- | | |
|------|-----------------------------|
| 敷地面積 | 539.34㎡ |
| 延床面積 | 280.54㎡（専有99.45㎡ 共有141.25㎡） |
| 建物構造 | 木造1階建て |
| 賃貸区分 | （土地）民間より賃貸 （建物）民間より賃貸 |

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名（兼任）
サービス管理責任者	1名（兼任）
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名 ※
支援員（非常勤職員）	8名 ※2名調理と兼務
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	3名 ※
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）（6回／年）	1名（兼任）
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	16名

※自立訓練と兼務

(2) 嘱託

医師（2回／年）	1名（兼任）
看護師（0回／年）	0名
作業療法士（0回／月）	0名
合 計	1名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	1名	10名	13名	7名	1名	32名
身障手帳	4名（うち3名重複）					4名
精神保健手帳	0名					0名

※身障手帳、精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成（平均年齢 39.2歳）

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	1名	4名	5名	4名	7名	0名	21名
女	0名	2名	6名	2名	0名	1名	11名
合計	1名	6名	11名	6名	7名	1名	32名

最低年齢 男…19歳 女…20歳 最高年齢 男…54歳 女…81歳

平均年齢 男…39.5歳 女…38.7歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区	合計
30名	1名	1名	32名

(4) 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	未定	合計
人数	0名	2名	7名	7名	6名	10名	32名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末数	29	30	30	30	30	30	30	30	30	31	31	32	363
延べ日数	638	690	660	690	690	660	690	660	690	713	651	736	8,168
延べ人数	603	616	618	626	576	591	620	615	624	631	585	669	7,374
出席率(定員)	88.4	86.4	90.6	87.8	80.8	86.7	87.0	90.2	87.5	88.5	89.9	93.8	88.1
出勤率(現員)	94.5	89.3	93.6	90.7	83.5	89.5	89.9	93.2	90.4	88.5	89.9	90.9	90.3

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～11:30	作業
11:45～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃
15:45～16:00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

8:30～9:00	朝礼・ストレッチ
9:00～11:20	作業
11:20～11:30	作業片付け
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

6. 重点目標

(1) 地域との関わり

- ①野口町自治会・諏訪町自治会の年間行事に参加するとともに、バザーや施設祭の開催やTボールやポッチャなどスポーツを通じた活動をすることで事業所の理解を広めて良好な関係を築く。
 - ・野口町・諏訪町の行事への参加や近隣の保育園や老人ホームとの交流、その他日々の回収作業やバザー、地域清掃の実施など施設への理解の普及に努め、地域と良好な関係が築けた。
- ②地域社会の中で活躍できるような活動を行う。地域清掃活動（みどりの森クリーンプロジェクト）を通して地域に貢献する。
 - ・みどりの森としての地域清掃は認知され、清掃中に声をかけていただけることが多くなり、利用者の活気づけにもなった。またバザーや回収、地域行事を通して多くの方と交流でき新旧の地域に貢献できた。
- ③畑で収穫した作物を社会福祉協議会等と連携しながら、地域の子ども食堂などの福祉的機関に提供することで社会貢献を目指す。
 - ・実現には至らなかった。猛暑で畑に行けない日が続き、作物の生育不良もあり収穫量が提供するまでに至らなかった。次年度は別の形で社会貢献できるよう工夫したい。

(2) 健康・衛生

- ①感染症予防対策として、日常的に利用者、職員の健康状態を把握し、衛生的な環境整備の徹底を図る。
 - ・感染症対策を継続して実施することで習慣化された。出勤時と昼食前の検温、朝/昼/夕のトイレ消毒、日課終了後の施設内の消毒を欠かさず取り組んだ。
- ②個別支援計画に基づき理学療法士による個々のプログラムを実施し、身体機能の維持向上を図る。
 - ・毎日欠かさず実施することは難しかったが、個々のプログラムをグループで実施するなどの工夫を行った。また担当以外の職員も個々の運動プログラムを実施できるよう、1つのファイルにまとめ職員全体に共有できるようにした。
- ③月に一度運動プログラムを実施し、Tボールやポッチャなど身体を動かすことで基礎体力の強化や心身の安定に繋げる。
 - ・Tボールやポッチャの機会は日課の中で定期的に提供することができたが、運動プログラムは、外部講師を呼ぶこと（抽選で無料）や広い施設を借りる（施設閉鎖）予定であったが、様々なイレギュラーがあり有効に提供することができなかった。
- ④定期健康診断、歯科健診、インフルエンザワクチン接種、毎月の体重血圧測定その他、婦人科

健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家庭等と情報共有を行い、必要に応じて適切な医療機関へ繋げる。

- ・各健診実施の他、毎月体重・血圧測定を実施し健康状態を把握し家庭と情報共有し、利用者の健康の維持・増進に努めた。
- ・定期健康診断（ひなたの道にて）白十字病院 4 / 19
- ・コロナワクチン接種 6 / 6、10 / 17
- ・インフルエンザワクチン接種 11 / 13
- ・婦人科健診（子宮がん） 6 / 22
- ・歯科健診 折笠 Dr 2 / 15

（3）作業・就労活動

- ①多機能型の特性を活かし自立訓練と連携し、B型からの作業提供や利用者の特性に応じて自立訓練の日中活動プログラムに参加するなど利用者にとってより良いサービスを提供する。
 - ・前年度以上に生活プログラムや作業等、個々のニーズに合わせて参加でき自立訓練と連携しながら、単独ではないきめ細かいサービスを提供できた。
- ②利用者一人一人と向き合い、個々の可能性を引き出せるよう常に模索し、働くことの喜びや達成感を得られるような取り組みを行う。
 - ・確実に達成することはできなかったが、利用者ごとに支援のアプローチを変え、その人にとって適切な支援となるよう努力した。また、出来るようになったことについてはその都度褒め、良い印象を残すことで次につなげる努力をした。
- ③職員配置を流動化することで職員の意識やスキルアップを図る。
 - ・多機能型としてプログラムを通して利用者、支援員共に交流できたことでお互いに学びの機会が増えた。職員の作業配置が固定化してしまったことがあったため、作業の進捗を報告するなどミーティング活用をしていく必要があった。
- ④現在就労している人が安心して働き続けられるよう関係機関と連携しフォローしていく。またニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行ない、就労施設とは違った新しい社会参加の形を提供する。
 - ・外部へのアプローチはほとんど実施できなかった。次年度はもう少し積極的に動けるようにしたい。また外部就労の開拓は出来なかった。みどりの森だけでなく、他機関の職員も巻き込んでサービス提供をしていく意識を持つ。
- ⑤畑で地域の方々と交流しながら土作りから種まき、除草、収穫まで、一連の農作業を体験するとともに季節の野菜を育てる楽しみを感じ心身の安定を図る。
 - ・暑い時期にこまめにいく事が出来なかったが、時間や環境を工夫し野菜作りを行った。育てることや収穫の楽しみは提供できたと思う。地域の方々と交流しながらの農作業は実施できなかった。

事業所内活動

（単位：円）

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	令和4年度収入	令和5年度収入
清掃事業	西武・武蔵野パートナーズ	中央公園・浅間山清掃	月8回	8名	871,594	973,994
	白十字ホーム	施設内の草取り	6月～10月	8名	62,124	70,752
	個人宅	マンション清掃	月2回	4～6名	60,000	66,000

	全生園、個人宅他草取り	草取り	6月～3月	全員	426,036	336,666
	グリーンネスハイム	草取り	12月～1月	4～6名	46,200	0
受託事業	(福)平成の里	封入・シール貼り	随時	全員	387,607	460,035
	(株)新日本包装	箱折り・組み立て	随時	全員	199,510	194,033
	(株)プロメディア	封入・シール貼り	随時	全員	370,354	589,050
	みつばち	付録解体	随時	全員	207,174	31,119
	新光(株)	ダンボール組立て	随時	全員	120,000	40,000
	みらい図	丁合	随時		54,946	127,350
	ポストウェイ	ポストティング	随時	全員	127,420	132,843
	Miyoshi	タイトニック	随時	全員	55,515	0
	その他(ひなたの道・白十字・美緒つむぎの会)	サンプル貼り・封入	随時	全員	113,931	7,240
回収事業	市内・近隣地域	古紙・リサイクル品回収	週2～3回	8名	2,628,675	2,598,197
その他事業	ミニバザー	リサイクル販売	月2回	8名	156,407	424,111
小計①					5,887,493	6,051,390

パート・アルバイト

(単位：円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和4年度収入	令和5年度収入
パート契約	セイコー物流	倉庫業務	週3日	1名	596,043	0
パート契約	ハーベスト	給食食器洗浄	週5日	1名	1,092,285	1,092,545
パート契約	白十字ホーム	下膳	週1日	1名	190,650	239,852
小計②					1,878,978	1,332,397
合計①+②					7,766,471	7,383,787

工賃支払実績

(単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	746,700	24,890	46,800	3,000	98,028
5月	311,800	10,393	23,200	3,000	107,656
6月	242,200	8,073	16,600	2,000	126,952
賞与	323,000	10,767	14,000	3,000	0
7月	330,300	11,010	24,200	1,000	139,268
8月	298,900	9,963	22,100	4,600	107,636
9月	423,900	14,130	35,000	5,100	26,968
10月	294,500	9,817	22,600	4,200	124,788
11月	308,400	10,280	22,800	5,100	129,494
12月	393,500	13,117	28,400	5,700	121,734
賞与	359,000	11,967	15,000	8,000	0
1月	514,600	17,153	37,000	6,500	108,367
2月	406,300	13,106	27,800	3,000	120,975
3月	382,900	11,966	25,800	3,000	120,531
合計	5,336,000	176,632	361,300	57,200	1,332,397
平均	444,667	14,719	30,108	4,767	111,033

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

(4) 給食

①利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。

- ・委託業者との行き違いが度々あり、その都度担当者や本部と連絡を取り対応した。利用者の食事形態に合った給食提供や健康状態によっておかゆなどの個別対応をした。(刻み食、お粥等)

②栄養基準量 (一人当たりの栄養基準量)

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	804Kcal	29g	127.8g	23.8g	258mg	0.47mg	0.53mg	38mg
実績	598Kcal	22.9g	84.8g	19.8g	115mg	0.36mg	0.29mg	37.5mg

(5) 自治会活動

毎月1回話し合いの場を設け、利用者が日々感じている事を発信する場を提供し、要望などを具体化する支援を行う。また自分の意見を伝える力を養うことで自信に繋げていくとともに、自分の意見が取り上げられるという体験を通し日課に興味を持ち積極的に過ごす事ができるよう支援していく。

- ・毎月1回は自治会を実施することが出来た。利用者の意見を集約することで支援・活動の際の検討材料とした。

(6) 行事

①クラブ活動 (隔月実施) ※自立訓練と合同

- ・利用者が毎回参加希望を出し自ら選択できた。支援員も毎回ローテーションすることでクラブ全体の把握ができ、また良い緊張感をもって行うことができた。

種目	主な活動場所
物づくり	みどりの森作業室 →多様な題材を提供し、利用者が楽しんで取り組むことができた。
ポッチャ	みどりの森作業室 →様々な対戦形式を実施した。年々上達しているため、次年度は他事業所と合同で行える機会を作りたい。
買い物・カフェ	イオンモール・イトーヨーカドーなど →それぞれの要望に応えられるよう努め、事故なく楽しく過ごせた。

②年間行事予定 ※自立訓練と合同

- ・企画から当日振り返りまで全体で共有できる機会が少なく、各所からの質問に担当者しか答えられないことが多かった。必要な情報はレジュメ等で共有し全体で意見を出すことが必要だった。

日付	内容	場所	目的	人数
6/12, 19, 26	防災体験	立川防災館	煙・地震・消火を体験する事により利用者、職員共に防災意識の向上を図る。	29名

8/5	猿田彦神社夏祭り	猿田彦神社	野口町自治会行事に参加し、地域の方々と交流することで事業所の理解を深め、良好な関係を築いていく。	40名
8/10	暑気払い	みどりの森	ソラスト保育園を招待し一緒に参加していただき交流し、親交を深めみどりの森の利用者や施設について知ってもらう。	4名
8/27	諏訪神社例大祭山車曳き	諏訪町内	諏訪町自治会に参加し地域の方々と交流を深め、良好な関係を築いていく。また、迫力のある山車曳きに参加することで、祭りの熱気を直に感じ祭りの雰囲気を楽しむ。	28名
9/2	東京都・東村山市合同総合防災訓練	東村山市立第7中学校	行政や地域住民と連携し、災害時を想定した訓練に参加することで防災への意識を高める。	23名
9/24	てんしゃばフェスタ2023	東村山駅西口駅前	野口町の発展として開催されるイベントに地域の一人として参加し、出店を通して地域の方々と交流しながら施設を知っていただき福祉への理解を広げる。	28名
10/22	諏訪スポーツ祭り	東村山市立化成小学校	地域に根差す活動と運動不足解消を目的とし、楽しみながら参加することで障害理解及び施設を知っていただく機会とする。	24名
10/29	白十字八国山フリーマーケット	白十字ホーム	諏訪町行事に参加し、地域の方々と交流を深め良好な関係を築いていく。また大勢の前でバンドを披露することで音楽の楽しさを伝え会場のみならず共有する。	26名
11/3	運動会	八坂小学校	法人全体で行うことで交流と一体感を持つ。身体を動かす楽しさを味わう。	25名
11/15	グループ別外出「ドラえもんミュージアム①」	藤子・F・不二雄ミュージアム	事前にお土産や食事を選択することで期待感をもって臨むとともに、非日常の体験を通し各々の目標を達成する。	6名
11/20	グループ別外出「ドラえもんミュージアム②」	藤子・F・不二雄ミュージアム	事前にお土産や食事を選択することで期待感をもって臨むとともに、非日常の体験を通し各々の目標を達成する。	6名
11/22	グループ別外出「川越散策」	本川越周辺	歴史ある街を散策し、情緒を楽しむ。	3名
11/28	バスハイク 山梨方面	富士サファリパーク・山中湖	利用者の希望により檻の中にはない動物を見て、船に乗る体験を行う。行事を通してそれぞれが自らの責任を持ち集団で行動する。	38名
12/3	Tボール大会	東村山市立化成小学校	Tボールを通して身体を動かす楽しさを実感すると共にお世話になった諏訪町地域の方々と交流を図る。	26名
12/6	グループ別外出「ドラえもんミュージアム③」	藤子・F・不二雄ミュージアム	事前にお土産や食事を選択することで期待感をもって臨むとともに、非日常の体験を通し各々の目標を達成する。	7名
12/24	クリスマス会	みどりの森	クリスマスの音楽・ゲーム・食事を通してクリスマスを楽しむ。会場設営から利用者が関わり、利用者主体の行事とする。	36名
1/15	成人を祝う会	中央公民館	人生の節目を祝う。	23名
1/17	グループ別外出「コカ・コーラ工場①」	コカ・コーラボトラーズジャパン多摩工場・吉祥寺アトレ	身近なものがどのようにできているかを見て興味を持ち、生活をより彩のあるものにする。	6名
1/22	グループ別外出「コカ・コーラ工場②」	コカ・コーラボトラーズジャパン多摩工場・府中くるる	身近なものがどのようにできているかを見て興味を持ち、生活をより彩のあるものにする。	6名
1/27	施設祭り	みどりの森	近隣・地域の方と交流し相互理解を深める。バザー品を販売し工賃に反映する。作業体験を通して施設の活動を周知する。	33名
3/22	納会	みどりの森	1年間を振り返り、利用者にも思った事を表現してもらう場とする。	38名

※グループ別外出（日帰り）1人1回

7. 防災訓練

(1) 防災

①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行う。

・地震と火事を交互に実施した。

②事業継続計画（BCP）ガイドラインの見直しと法人全体での訓練の実施、研修の実施を行

う。また、定期的に会議を開催する。

- ・実施できたとともに会議の報告や振り返りなどを行った。

③市、関係機関などと協力し機能を果たせる準備を整える。

- ・9月2日に実施した都市総合防災訓練に職員、利用者が参加し経験することで考える良い機会となった。

(2) リスクマネジメント

①事故対応マニュアルを施設内・車両に常備し、緊急時に対応できるようにしておく。

- ・担当者が運行日誌に東京海上日動の事故対応マニュアルを添付していたが、職員間で周知するには至らなかった。

②運転者は乗車前に毎日アルコール感知器を使用し酒気帯び確認記録表を記入し運転者の状態を確認するとともに、運転者は毎日乗車前に車両の状態も確認する。

- ・毎日アルコール感知器で検査を実施し、記録表に記入し、安全を確保した。

③構造化された安全な環境作りのため、常に整理整頓を実施し、定期的な大掃除を行う。

- ・年2回（夏・冬）大掃除を実施した。利用者個人のロッカーも利用者本人と一緒に掃除を実施した。作業室の整理整頓は職員間で偏りがあるため、全職員が意識して取り組めるようにしたい。

8. 地域との交流

(1) 野口町自治会や諏訪町自治会の行事に参加するとともに、バザーや施設祭、スポーツ活動を通じて交流を行う。また近隣の保育園と連携し交流できる機会を設ける。

- ・2自治会の様々な行事に積極的に参加し交流することができた。その中でも隣のソラスト保育園とは暑気払い招待、ハロウィンやクリスマス行事で訪問させてもらうなど、良好な関係を築くことができた。次年度は開所の都合などを見ながら地域行事の参加を精査していきたい。

(2) 挨拶、清掃活動、除草、回収作業など積極的に行ない、日常的な関係を充実させる。

- ・地域清掃は定期的実施し、その際にみどりの森だと一目で分かるようにゼッケンをつけて行ったことから、近隣からの声かけが増え地域への貢献と施設の認知を実感した。

9. 実習生の受け入れ

(1) 希望があれば特別支援学校・在宅者の受け入れを行い将来の進路選択につながる機会を提供する。

- ・東久留米特別支援学校、旭出学園の生徒を受け入れた。来年度1名入所が決定している。

(2) 大学からの実習を受け入れ、福祉職員の養成の一端を担うとともに、人材確保の機会とする。

- ・介護等体験27名、ガイドヘルパー研修2名を受け入れた。来年度も引き続き積極的に受け入れを行っていきたい。

10. 保護者会との連携

(1) 支援の充実を図るため、家族の方との情報交換を密に行う。

- ・保護者会や連絡帳を通して、情報や意見交換を実施したが、連絡帳の記入に関して家庭からの情報が抜けてしまうことが何度かあった。

- (2) 事業所の活動への理解を深めるため、定期的に保護者会を行う。
- ・行事の写真や作業中の写真を見せることでより理解してもらえるような工夫をした。保護者の希望により、次年度は施設内での実施も実現できるようにしたい。
- (3) みどりの森便りを月1回発行し、活動状況を発信する。
- ・日課中の様子がわかるように写真と文章を掲載するように努めた。また題字を利用者に書いてもらうことで発行に携われる機会を設けた。
- (4) 家族が参加できる行事を行い、交流の場とする。
- ・毎年恒例の運動会でご家族と利用者との交流、コロナ禍明けて4年ぶりの施設祭りを開催しご家族の手伝いを募り、職員とも交流できた。

1 1. 職員研修

- (1) 福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得する。
- ・今年度もZOOMIによるWEB研修が多かったが、職員のスキルアップを目指すことができた。
- (2) 研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行う。
- ・10月5日実施。講師の先生をお招きして福祉職員としての在り方等を全体で考え、その後のミニ研修会（12月14日実施）で先生の講話を掘り下げ、意見交換を実施した。
- (3) 法人全体で定期的に行う交通安全講習会に参加し、安全運転に対する意識を高める。
- ・8月21日実施。東村山警察署の方を講師に招き講習を実施し、安全運転に対する意識を全体で再認識した。また毎日ミーティングでヒヤリハットを報告することが習慣化できるようになった。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
防火・防災管理講習	5/29, 30	東京消防庁	立川防災館	瀬沼未来
新任職員向け研修	6/9	東社協知的発達障害部会	みどりの森相談室 (Web研修)	濱本祥子
労働基準法等に関する研修～福祉事業所経営に求められる労務管理とは～	7/4	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (Web研修)	加藤貴子
初任者研修	7/26, 27	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (Web研修)	白水楓子
初任者研修	8/7, 8	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (Web研修)	濱本祥子
障害者虐待防止・権利擁護研修	8/9, 9/11	公益財団法人東京都福祉保健財団	みどりの森相談室 (Web研修)	佐伯哲也
社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ	8/29	東京都福祉保健局生活福祉部地域福祉課	みどりの森相談室 (Web研修)	菊地仁恵 濱本祥子
社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ	9/7	東京都福祉保健局生活福祉部地域福祉課	みどりの森相談室 (Web研修)	瀬沼未来
社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ	9/13	東京都福祉保健局生活福祉部地域福祉課	みどりの森相談室 (Web研修)	佐伯哲也

社会福祉事業従事者 人権研修Ⅱ	10/2	東京都福祉保健局生活福 祉部地域福祉課	みどりの森相談室 (Web研修)	白水楓子
全体職員研修	10/5	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道	全員
管理職研修	10/5,6	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (Web研修)	加藤貴子
福祉施設における新事 業継続計画研修会	10/18	一般社団法人福祉防災コ ミュニティ協会	コロニーもみじやま 支援センター	瀬沼未来
不眠症に対する認知行 動療法研修	10/20	国立精神・神経医療研究セ ンター	国立精神・神経医療研 究センター	菊地仁恵
安全運転管理者講習	10/31	一般財団法人東京都交通 安全協会	みどりの森相談室 (Web研修)	加藤貴子
強度行動障害支援者養 成研修(基礎)	11/17	公益財団法人東京都福祉 保健財団	LINK FOREST	瀬沼未来
施設職員、介助者向け障 害者歯科保健研修会 上 手な歯科医療のかかり方 ～かかりつけ歯科医をも とう!～	2/1	東京都多摩小平保健所	みどりの森相談室 (Web研修)	濱本祥子
ファンディング研修 ～ファンを増やして福祉 活動を成長させるファン ディング基礎講座～	2/15	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (Web研修)	加藤貴子
フォローアップ研修	2/16	東社協知的発達障害部会	飯田橋レインボービル	濱本祥子

12. 会議

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	・自立訓練と合同で実施し、効率的に運営できた。
評価・アセスメント会議	2回/年	アセスメントの見直し、個別支援計画 ・計画的に行うことができなかった。効率的な方法を試 行したい。
給食会議	1回/月	メニューの要望、振り返り ・隔月で実施したが、内容と話し合いが反映されておら ずトラブルが多かった。
ケース会議	3回/月	利用者個々の課題について ・年間予定に沿って実施したが、急遽中止になった会議 は日程調整し全員のケースを確実に実施できた。じっ くり考える機会となっている。

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。

・伝えたいことがある利用者がいた場合は話がしやすい個室へ移動し、解決できるよう努めた。

②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。

・担当窓口や第三者委員について自治会を通して利用者へ周知する時間を設けた。

(2) 個人情報保護

個人情報保護規定に基づき、個人の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。

・取扱いやデータの管理には細心の注意を払い、すべての職員が意識して取り扱っている。

・便りや行事の写真など家庭からの要望を表にまとめ、間違いのないように管理できている。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。

・研修等で実施し定期的に確認をし、常に意識付けをしている。

②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。

・法人内で実施した。

③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

・研修部会を中心に合同職員会議での講習会を実施し、外部研修に行った職員からの研修報告会で勉強会を実施するなど、全員必要な研修を受講できた。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止・対応にあたる。

・利用者間でセクハラ発言が目立ち、その都度個別対応を行い話し合い、再発防止に努めた。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	042-395-3210
担当者	菊地 仁恵	同上
第三者委員	赤木 ふき子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	042-395-3210
担当者(男性)	瀬沼 未来	同上
担当者(女性)	白水 楓子	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	042-395-3210
担当者	佐伯 哲也	同上